

令和3年10月26日（火）  
令和3年度第1回千葉県食品ロス削減  
ネットワーク会議

# 千葉県食品ロス削減推進計画と ネットワーク会議について

千葉県環境生活部循環型社会推進課

ちば食べエコキャラクター  
「ノコサーヌ」



# 食品ロス削減に向けた 社会の動向

## ○ 持続可能な開発目標（SDGs）

平成27年9月採択

目標12 持続可能な生産消費形態を確保する

12-3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。

## ○ 循環型社会形成推進基本法に基づく 「第四次循環型社会形成推進基本計画」

平成30年6月閣議決定 家庭系食品ロス削減目標の設定

## ○ 食品リサイクル法に基づく基本方針

## ○ 食品ロスの削減の推進に関する法律

令和元年10月施行

「多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進する」

## ○ 食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針

令和2年3月31日閣議決定

都道府県・市町村は、地域の特性を踏まえた取組を推進するため、「食品ロス削減推進計画」

を策定（努力義務） 事業系食品ロス削減目標の設定

## ○ 第4次食育推進基本計画

令和3年3月策定

令和3年度から令和7年度までの5か年計画

目標の一つに「食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす」

# 千葉県の実績

# 千葉県食品ロス削減推進計画 (令和3年3月策定)

第10次廃棄物処理計画の中に位置付け  
(計画期間：令和3年度～令和7年度)

- 多様な主体の相互連携体制を構築
- 地域の実情に応じた効果的な普及・啓発等を展開

《主な取組》

- 「ちば食べきりエコスタイル」の展開
- 教育・学習の振興、普及啓発
- 食品関連事業者等における取組の支援
- 食品ロスの発生実態や取組状況の把握
- 情報の収集及び提供
- 未利用食品の有効活用や再生利用の推進
- 各主体の相互連携の推進



# ちばエコスタイル

ごみを減らすために、身の回りでできることを実践する  
ライフスタイル



## ちば食べきりエコスタイル

・食べ物がごみになる量をできるだけ減らしていきましょう。

- ◇食材を買いすぎない
- ◇長持ちするよう上手に保存する
- ◇食べきれぬ量だけ食卓に並べる
- ◇余った料理はリメイクする

など

ノコサーヌ



## ちばレジ袋削減 エコスタイル

・買い物をする際はマイバッグを持って行きましょう。

モラワン



## ちばマイボトル・ マイカップ推進 エコスタイル

・使い捨て容器はなるべく使わないようにしましょう。



# ちば食べきりエコスタイル (ちば食べエコ)

## ○県民だより等での情報発信

- ・「誰でも、すぐに、簡単に」できる取組を紹介
- ・賞味期限と消費期限のちがい
- ・エコレシピの紹介



## ○ちば食べエコ協力店

- ・食べ残しの削減に向けた取組を実践する飲食店・小売店などを登録し、県ホームページなどで取組内容を県民に情報提供。

(令和3年9月現在：483店舗)







# 未利用食品の有効活用に向けた取組

未利用のまま賞味期限が近づいた食品等の有効活用のための取組を実施。

## ○フードドライブ

令和2年度・令和3年度は  
県庁職員を対象に実施。

令和2年度	2回実施	約33キロ
令和3年度	1回実施	約12キロ
	2回目実施中!	



## ○防災用食料等の有効活用

(防災危機管理部)

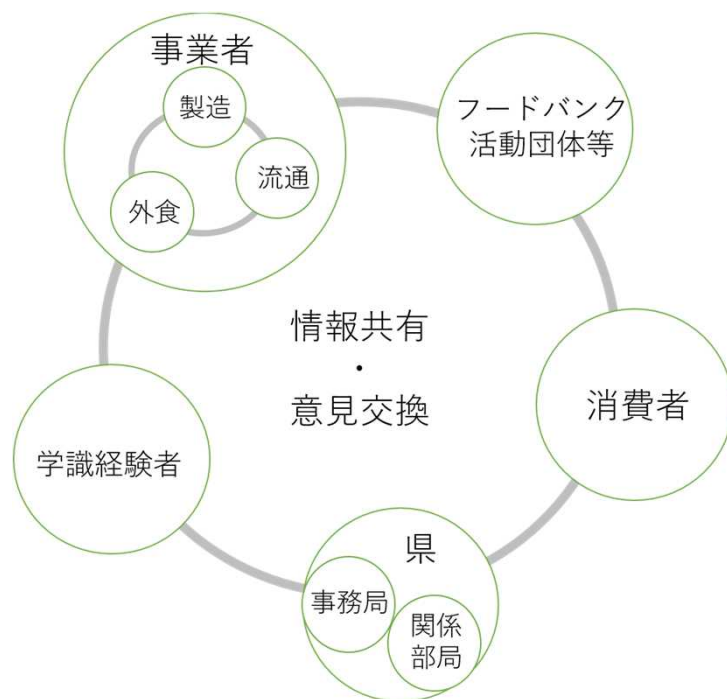
災害時用備蓄食料の入れ替え時  
などに、期限の近づいた食料を  
フードバンクへ寄付。



# 各主体の相互連携の推進

## 食品ロス削減ネットワーク会議の設置

事業者・消費者・関係団体・行政など多様な主体の連携強化を図るため、ネットワーク会議を設置



○千葉県における発生実態や  
取組状況についての情報共有、  
課題の抽出



千葉県の実情に応じた取組へ

○多様な主体が連携した啓発など

# 千葉県食品ロス削減ネットワーク会議

「千葉県食品ロス削減推進計画」に基づき、事業者・消費者・関係団体・行政等が情報共有・意見交換しながら、相互に連携し、効果的な取組を検討・実施していく

- 名 称 千葉県食品ロス削減ネットワーク会議
- 目 的 事業者、消費者、関係団体、行政等の相互連携の下、食品ロス削減を総合的に推進
- 所掌事務
  - ①食品ロスの実態や削減に向けた取組に関する情報共有・意見交換  
発生実態の把握、課題の抽出、先進事例の情報共有、その他意見交換
  - ②食品ロスの削減に向けた取組の検討・実施  
構成員が連携した消費者啓発キャンペーン、優良取組事例の普及、未利用食品の有効活用に向けた取組など

## ○構成

分野
コーディネーター ※
学識経験者
食品関連事業者（製造業者） （卸売業者） （小売業者） （外食業者）
関係団体
消費者
事務局（県）

### ※コーディネーター

流通・マーケティングに関する専門研究機関であり、食品ロスに関する数多くの調査研究・会議運営の実績を有する公益財団法人流通経済研究所が、会議における意見交換の進行や食品ロス削減に関する専門的助言を行います。

## ○ 令和3年度のスケジュール

会議等（時期）	内容等
第1回会議 （10月）	<ul style="list-style-type: none"><li>○千葉県食品ロス削減推進計画とネットワーク会議の趣旨</li><li>○近年の食品ロス対策の動向、取組事例等について</li><li>○意見交換<ul style="list-style-type: none"><li>・食品ロスの現状と課題について</li><li>・普及啓発の実施方法について</li><li>・その他（実態調査アンケートについて 等）</li></ul></li></ul>
12月頃	<ul style="list-style-type: none"><li>○啓発キャンペーン実施（てまえどり）</li></ul>
第2回会議 （2～3月頃）	<ul style="list-style-type: none"><li>○啓発キャンペーンについて<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度実施した啓発キャンペーンのふりかえり</li><li>・次年度の啓発キャンペーンについての意見交換</li></ul></li><li>○実態調査（事業者アンケート）について<ul style="list-style-type: none"><li>・調査項目についての御意見など</li></ul></li></ul>

# 食品ロス削減に向けた啓発キャンペーン（案）

## ○背景

食品産業から発生する食品ロス削減のためには、消費者に食品ロス削減への理解、協力をいただくことが不可欠です。

県と事業者が連携した啓発キャンペーンを実施することで、注目度が上がり、消費者の理解や購買行動の変化につながるなど、食品ロス削減効果が期待できます。

## ○取組内容

消費者に対し、食品を購入してすぐ食べる場合には、商品棚の手前にある商品を選ぶ「てまえどり」を呼びかけ、啓発物（千葉県独自の商品棚用POP）を設置する。

## ○実施事業者

ご協力いただけるコンビニエンスストアの  
県内店舗

## ○実施時期

令和3年12月から順次実施



商品棚用POPイメージ



## ○ 今後の展開（イメージ）

R3年度

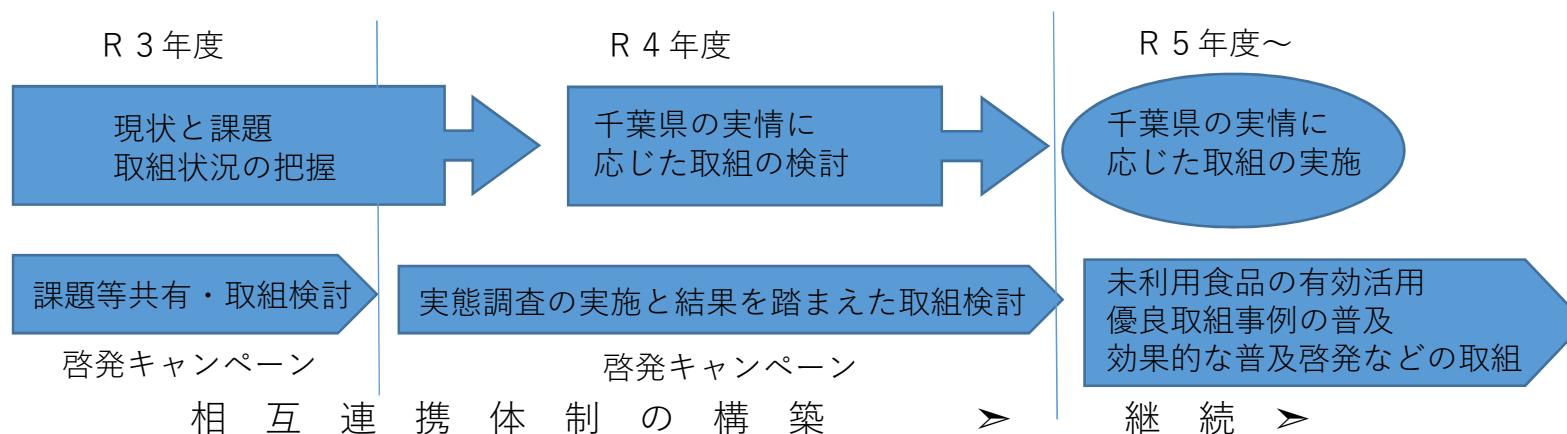
- ・ ネットワーク会議において、現状と課題、取組状況等を情報共有
- ・ 普及啓発の実施方法検討、啓発キャンペーン実施、検証
- ・ 次年度（予定）の実態調査（事業者アンケート）実施に向けた検討

R4年度

- ・ 実態調査（事業者アンケート）を実施し、千葉県における食品ロス（事業系）の特性、課題等を分析
- ・ 分析結果を踏まえ千葉県の実情に応じた取組を検討
- ・ 啓発キャンペーン実施、検証

R5年度～

- ・ 各主体の連携体制の継続
- ・ 前年度までの検討に基づき、具体的な取組を実施
- ・ 啓発キャンペーン実施、検証



おいしく食べて  
減らそう  
食品ロス

Reduce (ごみを減らす) Reuse (くり返し使う) Recycle (資源として再生利用する)

3R推進月間・食品ロス削減月間

千葉県環境生活部 循環型社会推進課

くり返し使って  
減らそう  
プラスチックごみ

Reduce (ごみを減らす) Reuse (くり返し使う) Recycle (資源として再生利用する)

3R推進月間・食品ロス削減月間

千葉県環境生活部 循環型社会推進課

ありがとうございました

